

2022年2月28日

ロシア軍のウクライナ侵攻に抗議し、軍事行動の即時停止を求める談話

日本退職者連合
事務局長 野田 那智子

1. ロシアによるウクライナ軍事侵攻を強く非難する

2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナに対する軍事侵攻を開始しました。これはウクライナの主権と領土を一方向的に侵害し、国家間紛争の平和的な解決を定めた国際法や国連憲章を軍靴で蹂躪する断じて許すことのできない蛮行です。

プーチン大統領に対し、速やかな軍事行動の停止と撤兵を強く要求します。

2. 戦争の停止と人道支援に、日本政府は積極的な外交努力を

報道によれば、ロシア軍の侵攻以降、ミサイル攻撃や地上部隊による戦闘が行われ、民間人を含む多くの死傷者が出ています。ウクライナ国民ならびにウクライナに暮らすすべての人々の命と自由を守ることが、いま最も重要な課題です。

また戦闘の拡大にともない、女性や子どもをはじめ多くの市民が難民として近隣諸国に避難をはじめています。ウクライナにおける戦争の停止と人道的支援に向けた国際社会の結束した取り組みが喫緊の課題となっています。日本政府には、このための積極的な外交努力を求めます。

3. 国際紛争の平和的な解決に向けて

ロシアによる軍事侵攻は、かつてベトナム、イラクその他多くの国や地域に対してなされた、軍事力による現状変更の試みが決して過去のものではないこと、そして軍拡競争が戦争を誘発することを改めて明らかにしました。さらにプーチン大統領は、国際社会に対して核戦力を誇示し、脅威を与えています。

国際紛争の平和的な解決に向けて、人類は1928年の不戦条約以降、国家の政策手段としての戦争を禁止する規範を作り上げてきました。その理念は日本国憲法にも継承されています。いま必要なことは核兵器廃絶と軍縮の推進です。国連は2018年に軍縮アジェンダを発表して、未来世代のための軍縮を訴えています。日本政府に対し、憲法の平和主義の理念を高く掲げて、世界軍縮の先頭に立つことを強く求めます。

以上